

第 600 回 : Oxford English Dictionary の使い方 (1 回目) (MS)

みなさんこんにちは。火曜日担当の MS です。今回は「Oxford English Dictionary の使い方」と題して、外大生のみなさんが図書館の学内端末で利用できる英語辞書「Oxford English Dictionary」(以下、OED) をご紹介します。とくに英米学科の語学文学コースの学生向けとなりますが、普段英語を使う外大生のみなさんにも有用になるはずです。

まず OED は、歴史的な意味の変遷を重視した英語辞書です (Oxford English Dictionary, 2025a)。収録語数は 50 万語で、例文は 350 万を超えるとされています。余談にはなりますが、辞書の成立については Winchester (2004) をご覧ください。

それでは、実際にどのように利用できるかを、“deer” という英語史上有名な語をもとに見ていきます (cf. 堀田、2009)。最初の定義 (1.) は以下の通りです。

1. † A beast: usually a quadruped, as distinguished from birds and fishes; but sometimes, like beast, applied to animals of lower orders. Obsolete.
(Oxford English Dictionary, 2025b, deer (n.))

普段私たちが使う “deer” とは違った意味が出てきましたね。これはダガー (†) で示されているように、今は使われなくなった意味です。現在一般的な「鹿」を意味する用法は、OED では定義 (2) として提示されています。このように、OED では初出順に意味が提示されているため、意味の変遷を概観できます。

ほかにも、収録されている例文は、著名な詩人や作家を含む様々な人物の用例を収録したものとなります。たとえば、15 世紀ごろ初出の語では、Geoffrey Chaucer や、彼に多大な影響を受けた John Lydgate からの用例がみられます。修道僧の Lydgate は、ラテン語由来の語を多用した、格式高い語法を駆使した多作な詩人かつ翻訳者とされます (cf. Kobayashi 1981)。その一方で、Chaucer の模倣として否定的な評価も下されているとの指摘もされています (cf. 轟 1993)。そこで、OED の Advanced Search で、ラテン語由来の語が含まれる彼の Quotations を調べてみましょう。すると、名詞 “asylum” や動詞の “vapour”、そして形容詞の “incredible” といった語が、初出事例として引用されています。否定的な評価が下されることもある Lydgate ですが、作品を通して英語の発展に大きく寄与したことがうかがえます。

今回は OED について具体例を交えてご紹介しました。便利ではあるものの、正直なところ OED だけでは満足できないこともあります。そこで、次回はほかのサービスと組み合わせる方法についてお話ししたいと思います。それでは。

参考文献

- 堀田隆一. 2009. 「#127. deer, beast, and animal」. hellog~英語史ブログ. Retrieved on November 25, 2025, from <https://user.keio.ac.jp/~rhotta/hellog/2009-09-01-1.html>.
- Kobayashi, Ayako. 1981. “The Aureate Terms in the Post-Chaucerian Period”.

第 600 回 : Oxford English Dictionary の使い方 (1 回目) (MS)

Reading 1. 99-135.

Oxford English Dictionary. 2025a. “About the OED” Retrieved on November 25, 2025, from

<https://www.oed.com/information/about-the-oed>.

Oxford English Dictionary. 2025b. “deer (*n.*),” Retrieved on November 25, 2025, from

https://www.oed.com/dictionary/deer_n?tab=meaning_and_use#7171103.

轟義昭. 1993. 「英文学史の記述に関する一考察—English Chaucerian ジョン・リドゲイトの記述と評価をめぐって—」. 『鹿児島県立短期大学紀要』44. 27-44.

Winchester, Simon. 2004. *The meaning of everything: the story of the Oxford English Dictionary*. Oxford; Tokyo: Oxford University Press.